

# 東北地方 1か月予報

(5月6日から6月5日までの天候見通し)

平成18年5月5日  
仙台管区気象台発表

## <特に注意を要する事項>

東北地方では1週目は高温ですが、2週目には低温となる可能性が大きく、気温の変動が大きいでしょう。その後も平年並か低いでしょう。

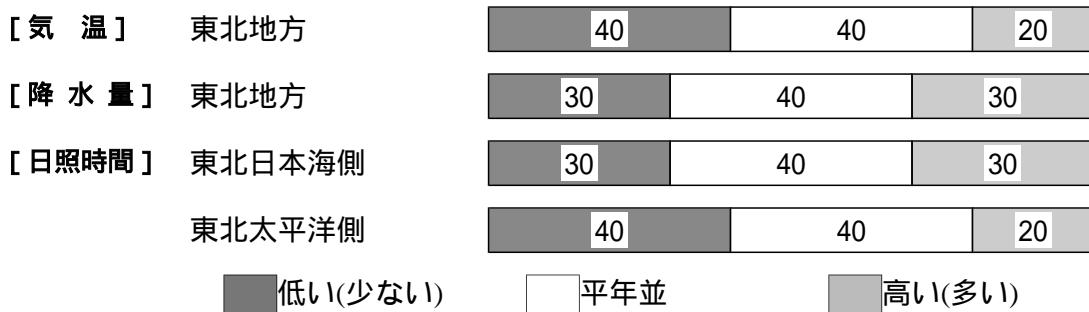
## <予想される向こう1か月の天候>

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北太平洋側では、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があり、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。なお、山間部では平年に比べて積雪量が多くなっていますので、なだれ等に注意してください。また、おそ霜の降りる日もあるでしょう。

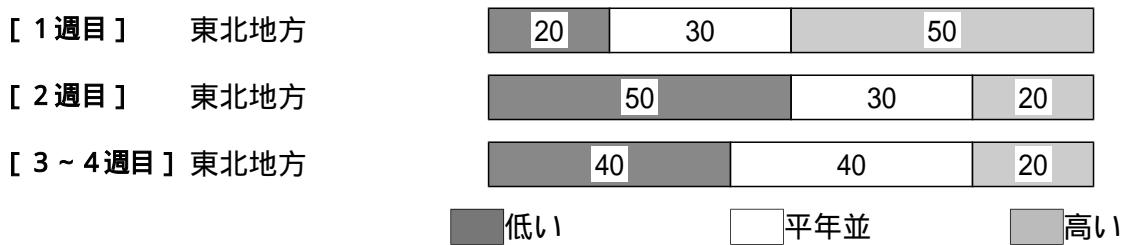
向こう1か月の平均気温は東北地方で平年並か低い、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は高い、2週目は低い、3~4週目は平年並か低いでしょう。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

- 1か月 : 5月 6日(土) ~ 6月 5日(月)  
1週目 : 5月 6日(土) ~ 5月 12日(金)  
2週目 : 5月 13日(土) ~ 5月 19日(金)  
3~4週目 : 5月 20日(土) ~ 6月 2日(金)

## <次回発表予定等>

- 1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は5月12日  
3か月予報：5月25日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温( )	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温( )		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	14.3	150.3	196.7	12.8	13.7	15.0
新庄	15.1	99.9	184.2	13.1	14.2	15.9
若松	16.3	77.9	200.4	14.5	15.5	17.1
深浦	13.7	101.0	202.4	12.1	13.0	14.4
青森	13.8	75.8	212.1	12.2	13.2	14.5
むつ	12.8	90.5	207.1	11.3	12.2	13.5
八戸	13.7	85.9	208.0	12.3	13.2	14.2
秋田	15.0	113.8	197.6	13.2	14.2	15.8
盛岡	14.6	98.7	195.5	12.9	13.9	15.4
宮古	13.6	98.3	190.0	12.4	13.2	14.2
酒田	15.7	106.8	203.8	13.9	14.9	16.5
山形	16.3	80.6	203.7	14.5	15.5	17.0
仙台	15.6	106.0	195.8	14.1	14.9	16.3
石巻	14.7	95.7	204.6	13.1	14.0	15.4
福島	17.3	86.8	195.0	15.7	16.6	18.0
白河	15.5	120.8	186.5	14.0	14.8	16.3
小名浜	15.7	141.6	198.7	14.4	15.2	16.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.5	85 ~ 112	97 ~ 106
東北日本海側	-0.3 ~ +0.4	82 ~ 113	96 ~ 106
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.4	82 ~ 110	97 ~ 107

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.4 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.5
東北日本海側	-0.5 ~ +0.8	-0.4 ~ +0.6	-0.5 ~ +0.4
東北太平洋側	-0.4 ~ +0.8	-0.3 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.5

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成18年5月5日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(5月6日~6月5日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北太平洋側では、前線やオホーツク海高気圧の影響を受ける時期があり、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。山間部では平年に比べて積雪量が多くなっていますので、なだれ等に注意してください。なお、1週目は高温ですが、2週目には低温となる可能性が大きくおそ霜の降りる恐れがあります。

平均気温は平年並か低いでしょう。

1週目(5月6日~5月12日) :

東北地方は曇りや雨の日が多いでしょう。期間の中頃は晴れる日もある見込みです。最高気温は平年並、最低気温は平年より高く期間のはじめはかなり高いところがあるでしょう。なお、気温の上昇や雨によるなだれ等に注意が必要です。

平均気温は高いでしょう。

2週目(5月13日~5月19日) :

東北太平洋側では前線やオホーツク海高気圧の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(5月20日~6月2日) :

天気は数日の周期で変化するでしょう。東北地方は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

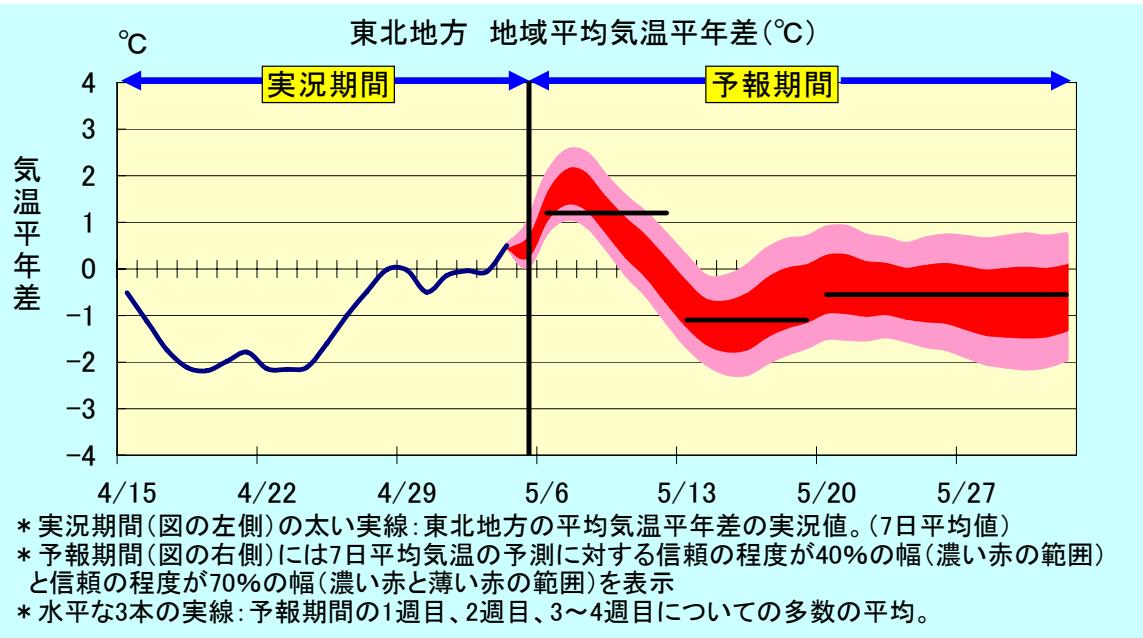
平均気温は平年並か低いでしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	16.3日	4.4日	3.8日	8.1日
東北太平洋側	16.3日	4.4日	3.8日	8.1日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目は「高い」、2週目、3~4週目は、「低い」と予測している。予報は、その他の資料から、3~4週目を「平年並か低い」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

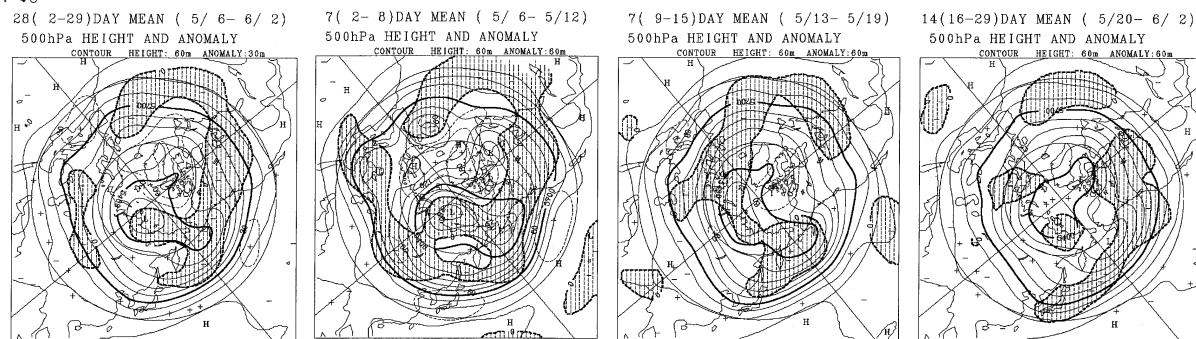


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近は太平洋中緯度から広がる正偏差域（暖気に対応）に覆われている。一方太平洋の高緯度では負偏差（寒気に対応）。オホーツク海付近の偏西風の流れは分流傾向。

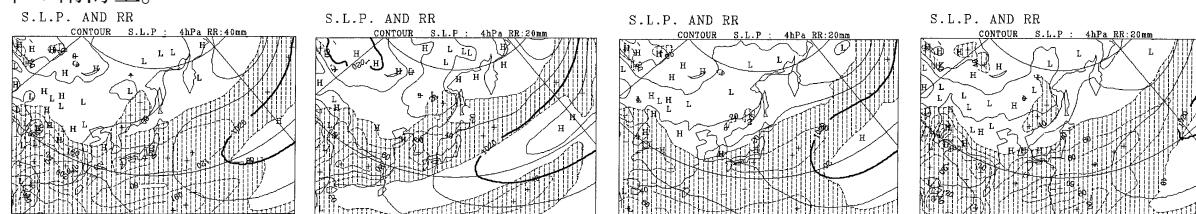
1週目は、日本付近は明瞭な正偏差に覆われる。一方日本の北は負偏差が分布。2週目は、東北北部以北は高緯度から伸びる負偏差域に覆われる。オホーツク海付近の偏西風の流れは分流傾向。3~4週目は日本付近は負偏差域に覆われる。オホーツク海付近の偏西風の流れは引き続き分流傾向。



#### 地上気圧と降水量：

月平均では、等圧線の間隔が広く高低気圧が周期的に通過する。華南から東日本にかけて明瞭な降水域が見られる。

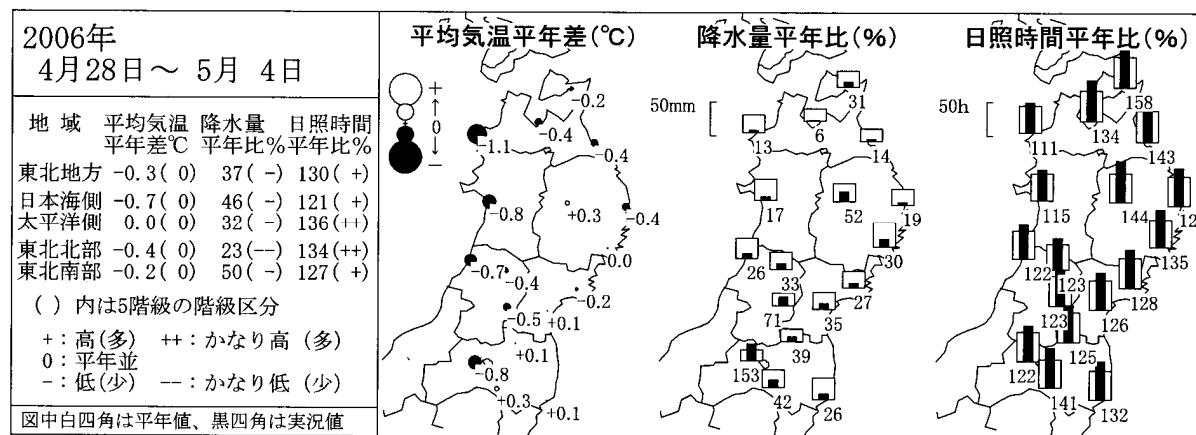
1週目は、太平洋の高圧部が南から張り出す。日本海付近に中心を持つ降水域が広く分布。2週目は、太平洋の高圧部が後退し、明瞭な降水域は日本の南岸に位置する。北に中心を持つ高気圧の影響をうける時期もある。3~4週目は、ひきつづき太平洋の高圧部は弱く、降水域の中心は日本の南海上。



### 4. 最近1週間（4月28日～5月4日）の天候の経過

この期間、4月30日から5月2日にかけて前線がゆっくりと南下して東北南部でぐずついた天気となつた他は移動性の高気圧に覆われて晴れる日が多くた。

平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北太平洋側でかなり多く、東北日本海側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）